

地歴公民

科目 ( 日本史B )

|          |              |    |               |                    |
|----------|--------------|----|---------------|--------------------|
| 単位数      | 4            | 単位 | 学科・学年・学級      | 普通科 3 年 A～E 組      |
| 教科書(出版社) | 『新日本史B』山川出版社 |    | 副教材<br>(出版社)等 | 『日本史のライブラリー』東京法令出版 |

1 学習の到達目標

|   |
|---|
| <p>1 現代の日本までの歴史の展開について総合的に考察させ、日本の伝統と文化の形成について認識を深めさせる。<br/>                 2 資料に触れながら実証的に考察させることによって歴史の考え方等を身に付けさせ、歴史的思考力を育成する。<br/>                 3 民主的・平和的な国家・社会を形成する国民としての自覚を養い、国際社会に主体的に対応できる資質を養う。</p> |
|---|

2 学習計画

| 学期      | 月           | 単元名    | 学習項目        | 学習内容や学習活動   | 評価方法   |   |   |
|---------|-------------|--------|-------------|---|--|---|---|
| 1<br>学期 | 4<br><br>5  | 歴史と資料  | 正倉院と古代の歴史   | 正倉院及び正倉院宝物や正倉院文書から、当時の政治、文化、国際関係などを学ぶことで、歴史の現場を体験し、歴史認識と想像力を豊にし、歴史を学ぶ楽しさや意義に気づく。  | P. P. 教材の提示<br>講義<br>プリント作業・小テスト   |   |   |
|         |             |        | 第1部 原始・古代   | 第1章 日本文化のあけぼの   |  | 原始社会の展開と社会・文化の特色に対する関心をもたせ、日本の古代の「クニ」の成立過程や古墳文化やヤマト政権の成立過程を学ぶ。  |   |
|         |             |        |             | 第2章 古代国家の形成   |  | ヤマト政権の支配機構から律令国家成立までの過程を通じ、東アジア世界と関連付けながら飛鳥文化の特色を学び、多角的に考察する。   |   |
|         |             | 5      |             | 第3章 古代国家の展開   | 律令国家の展開、文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、東アジア世界との関係を考察し、日本の律令国家としての歩みを理解する。また律令制支配の衰退と地方支配の仕組みの変質が中世的な世界を生み出していくことについて理解する。 | P. P. 教材の提示<br>講義<br>プリント作業・小テスト<br>課題プリント(小論文)   |   |
|         |             | 6      |             | 第4章 宮廷貴族社会の成立   | 摂関政治や国風文化の成立過程と棟梁を中心とした大武士団が成立していく過程を理解し、次第に政治的な力を持つようになったことについて考察する。  | P. P. 教材の提示<br>講義<br>プリント作業・小テスト  |   |
|         |             | 7      | 第2部 中世      | 第5章 武家政権の形成   | 中世社会の貴族と武士のかかわりに関心をもち、政治的主導権が貴族から武士に移行していく過程を東アジア世界を関連づけて考察できるとともに、武家の支配体制と幕府政治について把握する。                         | P. P. 教材の提示<br>講義<br>プリント作業・小テスト  |   |
|         |             |        | 第6章 中世社会の展開 | 室町幕府による幕府政治と朝廷との関りを理解し、中世社会の特色を文化や政治から読み取るとともに、群雄割拠する戦国時代へと変化する過程と戦国大名の支配体制を理解する。   | P. P. 教材の提示<br>講義<br>プリント作業・小テスト<br>課題プリント(小論文)  |   |   |
| 2<br>学期 | 9<br><br>10 | 第3部 近世 | 第7章 幕藩体制の成立 | 鉄砲とキリスト教の伝来とヨーロッパの大航海時代の展開に関連させて世界史的視野で考察し、キリスト教の伝来が日本の社会にあたえた影響とともに、キリスト教が急速に広まった背景について理解し、織豊政権から江戸幕府の成立背景や江戸初期の対外関係を考察する。 | P. P. 教材の提示<br>講義<br>プリント作業・小テスト   |   |   |
|         |             |        |             | 第8章 幕藩体制の展開   |  | 幕府政治の転換が図られた経過について考察し、將軍綱吉の政策によって幕府財政の悪化した要因とその対策、影響についても考察するとともに、産業の発達によって民衆の生活がどのように変化し、どのような文化が発展したのかを理解する。  | P. P. 教材の提示<br>講義<br>プリント作業・小テスト<br>課題プリント(小論文) |
|         |             |        |             | 第9章 幕藩体制の動揺   |  | ペリー来航から開国にいたるまでの背景を理解し、当時の日本の国際的立場と貿易の実態とその影響による経済の混乱について考察するとともに、江戸幕府滅亡と明治政府の成立とその支配の実態を、ヨーロッパ諸外国と関連づけながら理解する。 | P. P. 教材の提示<br>講義<br>プリント作業・小テスト                |

| 学期      | 月  | 単元名       | 学習項目   | 学習内容や学習活動   | 評価方法   |
|---------|----|-----------|--|---|--|
| 2<br>学期 | 11 | 第4部 近代・現代 | 第10章 近代国家の成立   | ペリー来航から開国にいたるまでの背景を理解し、当時の日本の国際的立場と貿易の実態とその影響による経済の混乱について考察するとともに、江戸幕府滅亡と明治政府の成立とその支配の実態を、ヨーロッパ諸外国と関連づけながら、理解する。    | P. P. 教材の提示<br>講義<br>プリント作業・小テスト<br>課題プリント(小論文)    |
|         | 12 |           | 第11章 立憲国家の成立と日清・日露戦争                                     | 近代国家の形成過程と国際社会の中の日本を考察し、日本がどのようにして列強の仲間入りしたのかを学ぶ。またその背景に近代産業の成立、発展が大きく関連していることを考察する。さらに近代日本文化についても学ぶ。               | P. P. 教材の提示<br>講義<br>プリント作業・小テスト                   |
| 3<br>学期 | 1  |           | 第12章 大正デモクラシーと政党政治                                       | 第1次世界大戦からワシントン体制までの流れを学び、議会制民主主義がどのように発展したのかを考察する。また第1次世界大戦のきっかけ生まれた市民文化についても理解する。                                  | P. P. 教材の提示<br>講義<br>プリント作業・小テスト<br>課題プリント(小論文)    |
|         |    |           | 第13章 第2次世界大戦と日本  | 第2次世界大戦と日本との関わりについて、国際状況や日本国内の世論などと関連づけながら考察し、理解する。また日本がアジア世界に与えた影響とその背景について考察する。                                   | P. P. 教材の提示<br>講義<br>プリント作業・小テスト                   |
|         |    |           | 第14章 占領と国際復帰<br>第15章 55年体制と高度経済成長<br>第16章 冷戦の終了と55年体制の崩壊 | 戦後の日本の民衆の生活や経済状況などを理解し、占領下から独立へを向かう背景を考察する。また現代の日本にいたるまでの政治的・経済的なできごとを総合的に関連付けながら理解する。さらに現代の世界で日本が担う国際的な役割について考察する。 | P. P. 教材の提示<br>講義<br>プリント作業<br>小テスト<br>課題プリント(小論文) |

### 3 評価の観点

|            |  |
|------------|--|
| 関心・意欲・態度   | 原始・古代から現代までの日本の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。                         |
| 思考・判断・表現   | 原始・古代から現代までの日本の歴史を、世界の歴史と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。      |
| 観察・資料活用の技能 | 原始・古代から現代までの日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。      |
| 知識・理解      | 原始・古代から現代までの日本の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。 |

### 4 評価の方法

|  |
|--|
| 関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。 |
|--|

### 5 担当者からのメッセージ(確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

人類の歴史は英知の結晶です。今の自分にすぐにも役立つことができる「成功」の事例がたくさんあります。同じような失敗をした事例もたくさんできます。今、生きていくことの問題についても発展的にとらえ、生きていくことに役に立つ歴史を学んでほしいと思っています。